



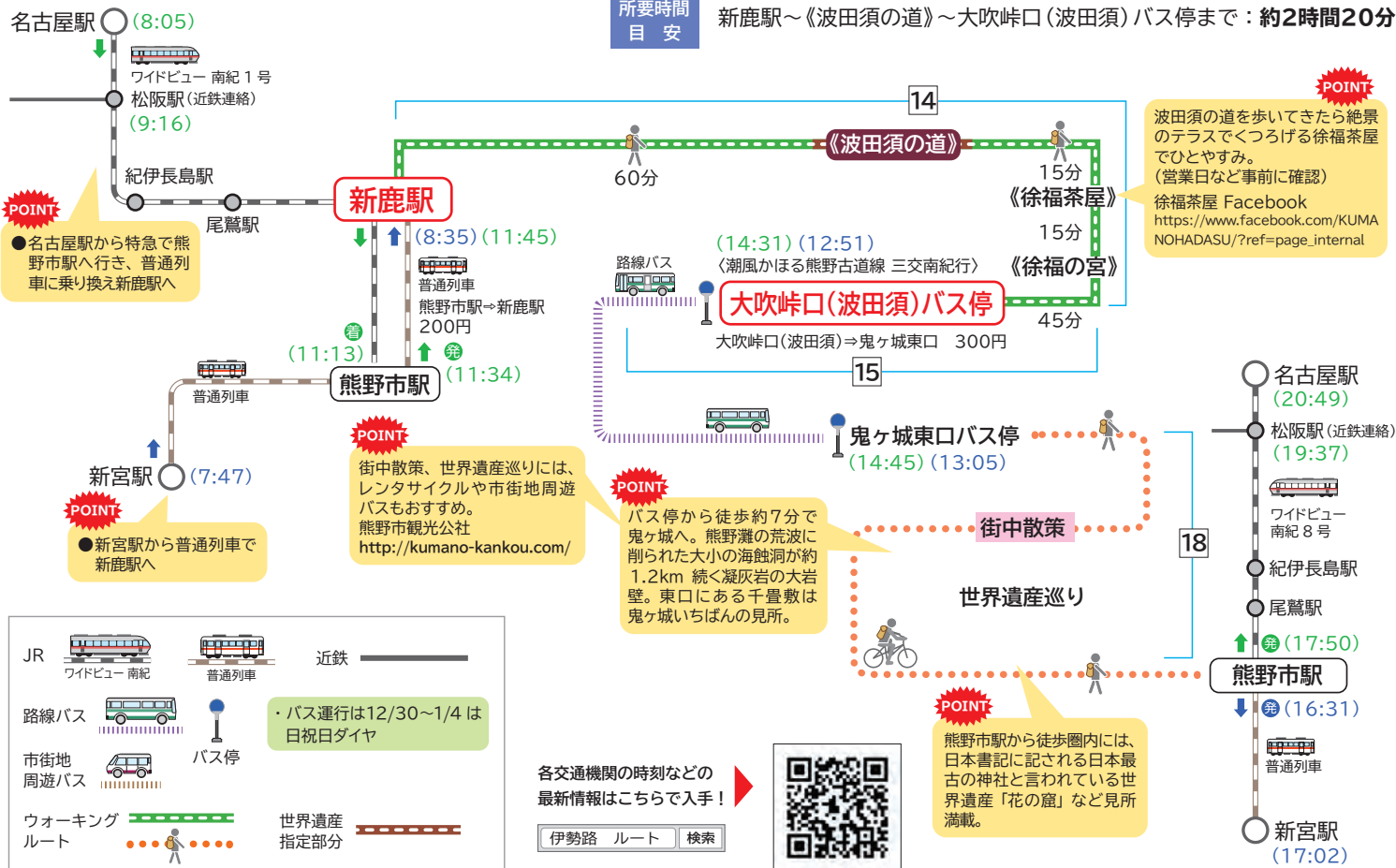
弘法大師が残した足跡といわれる凹地に霊水が枯れることなく溜まり、その水は万病にご利益があるといわれています。

西丹後守屋敷跡の前の巨石に、仇討ちに来た夫婦を返り討ちにしてしまったことを自ら戒め、「勤慎忍」と刻んだものです。

- 距離／約4km（JR新鹿駅～JR波田須駅）
- 歩行時間／1時間30分
- 散策レベル／★
- コースの特徴／波田須は、二千年以上の昔に不老不死の仙薬を求めて中国からやってきた徐福が上陸した里と伝えられています。海と山の間に棚田や民家が点在する、伝説と神話の里で数々の史跡を巡り、悠久の時を感じることができます。徐福が求めた不老不死の薬だといわれる天台烏薬の木は、波田須神社や徐福の宮周辺に植えられています。

はだす 波田須の道・熊野市街

14 15 18



二十六
にしま 二木島峠から 逢神坂峠まで
5km 100分

逢神坂峠
案内板

14
30

施主庄五郎
善吉の地蔵

ふ

逢神坂峠
二木島峠

新鹿

道標No.34

湊川橋

注 国道311号の手前で右折し町中をぬけます

注 国道311号に合流。そのまま国道を歩きます

里山にです。

新鹿登り案内板

橋間の庚申札

WC

三浦標良向石碑

東南海大地震の記

巡礼道標

標識

海をながめながら遊歩道も歩く

注 ここで道標を頼りに、国道を外れて丘谷地に入ります。

トンネルをまたいだら道標に従い左折します

再び国道311号に合流したらトンネルの手前まで進みます

道標に従い石段を上がり

西行松案内板

波田須の里まではすぐです。

波田須の道案内板

集落をぬけたら案内板を目印に山中の道を進みます

波田須神社

徐福墓

波田須神社

波田須駅

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

波田須

「逢神」の由来
紀伊続風土記には「山奥狼多き故、多良坂の名あり」とあり、逢神中坂峠の名の由来は伊勢の神と熊野の神が逢ひ、狼のほかに狼が多く出没したことにあつたといふ。

1 徳司神社の丸石の石垣
荒々しい海岸の角が削られ丸また石は玉として特別の意味を持っていたので、徳司神社の石垣は、丸石が積み上げられ独特の意匠となっています。

2 徐福の宮
始皇帝が不老長寿の仙薬を探しに命を懸けて徐福が上陸した波田須。その船団上陸の地「矢賀の磯」付近の徐福の宮に、今も徐福が祀られています。

0 = 100m 500m

